

リハビリテーション心理学専攻 カリキュラムマップ 2020年度～

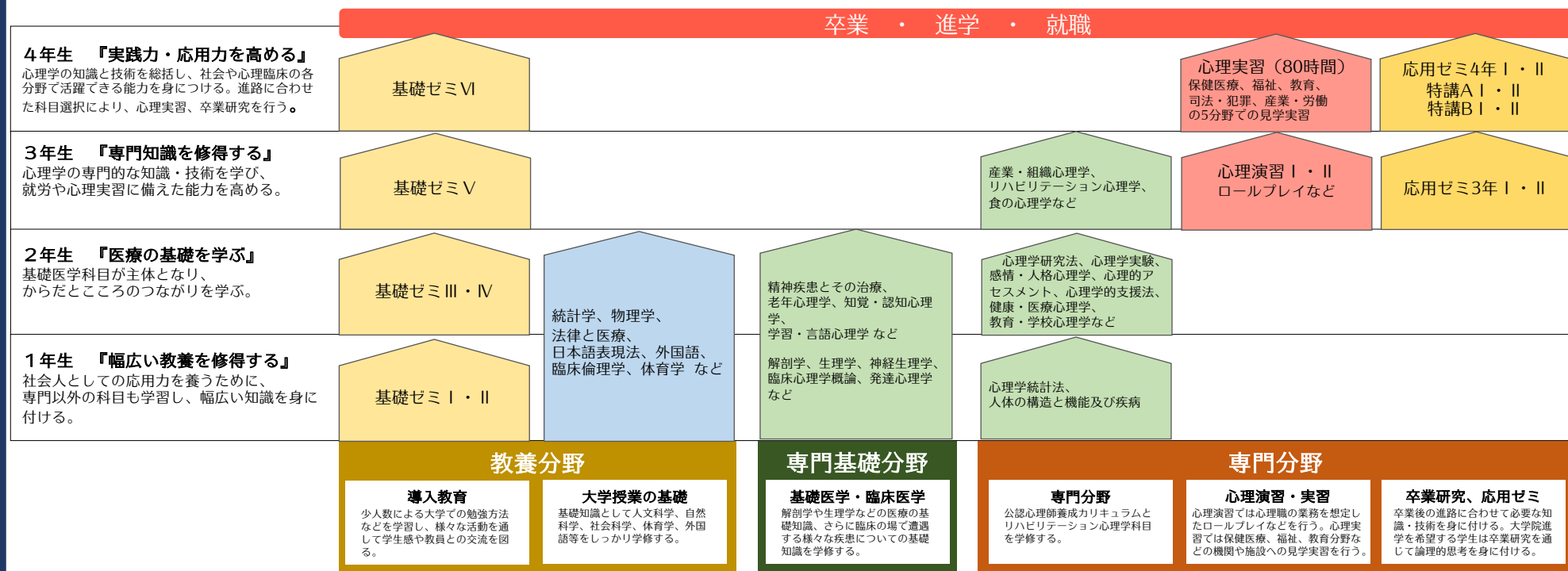


ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

- ① 社会人として高い倫理観をもち、他者と自己とのかわりを自覚し、人間の心に対する深い理解をもって他者に寄り添うことができるもの。
- ② 学修してきた心理学的知識・技術を有し、人間が抱える心の諸課題に対し最善の方策を講ずるべく誠意をもって努力し、地域社会へ貢献できるもの。
- ③ 人間の心と行動について生涯探求し、国際的・学術的な視点で心理学の応用と発展に寄与できるもの。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

- ① 教養分野の導入科目・人文科学・社会科学では、社会人として必要とされる素養と倫理観を学習し、人間と社会を知るための科学的な知識・思考力の修得を図る編成とする。
- ② 専門基礎分野では、心理学基礎領域をはじめ、人間の行動を心身両面から科学的に把握することを目的に他領域の知識の修得も図る編成とする。
特に医学領域では、他の心理学専攻には類を見ない「解剖学」、「生理学」等の医学系科目をも含む編成とする。
- ③ 専門分野では、心理学応用領域としての「心理療法」、「産業カウンセリング」、「芸術療法」等、リハビリテーションや治療の介入としての心理学的知識・技術の習得が可能となる編成とする。
- ④ 学術的に科学としての心理学を学ぶために外国語や研究法を修得し、将来、国際的に広く活躍できるためのカリキュラム編成とする。



アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

- ① リハビリテーション心理学における専門的知識や技術を身につけるために十分な基礎的学力（特に国語、英語、社会の学力）を有する。
- ② 人間の心の原理や多様性に関心があり、心の働きが社会を形成し、また、社会が心に影響を与える関係性について興味・関心をもっている。
- ③ 人間の心が抱える悩みや疾病によって生じる個人や社会の課題に対して、共感と問題意識をもちながら積極的な貢献を目指す。
- ④ 自らの心のあり方にいつも意識を向けながら、人間の心の働きを多角的に考え、新たな自分の発見と変化を求めることができる。